FOMA Nシリーズ データリンクソフト ver1.11

取扱説明書

●ご使用の前に必ず、本取扱説明書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

●本製品は次の電話機とパソコンとをFOMA USB接続ケーブルで接続してご利用いただけます。なお、本取扱説明書では次の電話機を「FOMA端末」と記載しています。

FOMA N2701

FOMA N2051

FOMA N2002

FOMA N2001

●FOMA端末の『取扱説明書』もあわせてご覧ください。

・「FOMA/フォーマ」「iモード」「iアプリ/アイアプリ」「iモーション/アイモーション」および「FOMA」「i-mode」「i-αppli」「i-motion」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

●お問い合わせ先

FOMA端末について(ドコモグループ各社)

ドコモの携帯・自動車電話/PHSからの場合

(局番なしの) 151(無料)

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯・自動車電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

データリンクソフトについて

NEC(モバイルターミナル営業本部)

0120-102-001

受付時間:平日 午前 9:00~12:00　午後 1:00~5:00
(土・日・祝日・NEC所定の休日を除く)

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。ソフトウェアについても内容の一部または全部を無断で複写することは、ソフトウェアをバックアップする場合を除き禁止されています。
(2) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容は万全を期して作成しております。万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は、日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本製品に関して海外での保守サービスおよび技術的サポート等は行っておりません。

本書の読み方

本書の構成

本書は次の構成になっています。

- **第1章 データリンクソフトでできること：**
  特長を記載しています。
- **第2章 準備をしよう：**
  ケーブル接続とソフトのインストール操作を記載しています。
- **第3章 データリンクソフトの操作：**
  ソフトの操作方法について記載しています。

なお、操作はメニューからコマンドを選択する操作で記載しています。

本書の表記

■メニューの表記

メニューの各機能名は、[　]で囲んでいます。
メニューを選択するとさらにプルダウンメニューが表示され、その中から機能を選択する場合は、ハイフン「－」でつないで表記します。

（例）[通信]－[データ読込]を選択します。
　→ メニューバーから[通信]をクリックし、表示されたプルダウンメニューから[データ読込]を選択し、次にクリックします。

■画面の表記

画面の一番上に表示される画面名は【　】で囲んでいます。

■画面内の項目の表記

画面内に表示される項目名は「　」で囲んでいます。

■キーの表記

キーボード上のキーは囲みをつけています。

（例）CTRL

2つのキーを押す動作は、2つの囲みを「＋」でつないでいます。

（例）CTRL ＋ V → CTRL キーを押しながら V キーを押します。

■ボタンの表記

ボタンの名称を＜　＞で囲んでいます。

■参照の表記

説明中の機能に関する参照先を『　』で囲んでいます。

■マークの説明

●誤った取扱いをしないための注意事項、および利用できない機能などについて記載しています。

●製品を取扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスを記載しています。

■正式名称

- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windowsは、日本語版Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000 ProfessionalまたはWindows® XPの略です。
- データリンクソフト、FOMA用データリンクソフトは、FOMA Nシリーズ データリンクソフト ver1.11の略です。

目次

本書の読み方

第1章 データリンクソフトでできること

第2章 準備をしよう

第3章 データリンクソフトの操作

付録

第1章 データリンクソフトでできること

データリンクソフトは、FOMA端末からパソコンにデータを読み込み、読み込んだデータを編集することができます。また、編集したデータやパソコンで作成したデータをFOMA端末に書き込むこともできます。データリンクソフトをご利用になるとFOMA端末では面倒な漢字入力が簡単にできるだけでなく、パソコンに保存したデータを複数のFOMA端末に登録できます。

主な特長

- 電話帳の追加、編集、削除、コピー、切り取り、貼り付け、印刷ができます。
- スケジュール／ToDoの追加、編集、削除ができます。
- iモードメール、SMSメール、テキストメモ、ブックマークの追加、編集、削除、複写ができます。
- オリジナル着信音、オリジナルイメージ、オリジナルiモーションの転送ができます。
- 複数のFOMA端末に同じデータ（電話帳、スケジュール／ToDo、iモードメール、SMSメール、テキストメモ、オリジナル着信音、オリジナルイメージ、オリジナルiモーション、ブックマークのデータ）を登録することができます。

●メールの送信／受信はFOMA端末で行います。データリンクソフトでは、メールの送信／受信は行えません。

第2章 準備をしよう

本章では、データリンクソフトをお使いになる前準備として、FOMA端末とパソコンとの接続やデータリンクソフトのインストールについて記載します。

必要な動作環境

データリンクソフトは、次の環境で動作します。

項　目	説　　明
パソコン本体	PC／AT互換機で、USBポートが使用できる機種 マルチプロセッサ搭載のパソコンではご利用になれません。
OS	日本語版Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000またはWindows® XP
必要メモリ	日本語版Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000　：64MB以上※ 日本語版Windows® XP　：128MB以上※
ハードディスクの空き容量	20MB以上※
ケーブル	FOMA USB接続ケーブル （詳しくは、FOMA端末の『取扱説明書　データ通信編』をご覧ください。）
ドライバ	通信設定ファイル （詳しくは、FOMA端末の『取扱説明書　データ通信編』をご覧ください。）

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量は、システム環境によって異なることがあります。

インストール

インストールの前に、本ソフトのインストールファイルをホームページからダウンロードし、ファイルを解凍しておいてください。また、解凍したファイルの保存先(ドライブ名、フォルダ名)をメモしておくことをおすすめします。

- インストールプログラムを起動する前に、本取扱説明書を表示しているAdobe® Acrobat® Reader™以外のすべてのアプリケーションと設定しているスクリーンセーバーを終了してください。システムファイルや共有ファイルが使用中になっていると、正常にインストールできない場合があります。
- Windows® XP、Windows® 2000のパソコンにインストールする場合は、Administratorまたは管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。これ以外のユーザとしてログオンするとインストールを行えません。
- 手順***5*** 以降は、Alt+Tabで画面を切り替えながら本説明書をお読みください。

インストール操作

ここではWindows® XPを例にインストール方法を説明します。

1 **[スタート]−[コントロールパネル]を選択する**

【コントロールパネル】画面が表示されます。

2 **「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

【プログラムの追加と削除】画面が表示されます。

3 **<プログラムの追加>ボタン−<CDまたはフロッピー>ボタンを押す**

【フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール】画面が表示されます。

4 **<次へ>ボタンを押す**

【インストールプログラムの実行】画面が表示されます。

5 ＜参照＞ボタンを押し解凍先のドライブ、フォルダ内の“Setup.exe”を指定し、＜完了＞ボタンを押す

データリンクソフトのインストールプログラムが起動します。

6 ＜次へ＞ボタンを押す

7 画面の説明に従ってインストールする

【インストール先の選択】画面で、表示されているインストール先のフォルダを変更する場合は、<参照>ボタンを押し、インストール先のドライブ、フォルダを指定します。

インストールが完了すると[スタート]メニューの[プログラム]に[FOMA Nシリーズ データリンクソフト ver1.11]が追加されます。

●インストール先のフォルダは、最上位フォルダ(C:¥、D:¥等)以外を指定してください。

●本ソフトを使わなくなった場合は、【プログラムの変更と削除】ボタンを押し「FOMA Nシリーズ データリンクソフト ver1.11」の削除を指定し、アンインストールしてください。

パソコンとの接続

操作の前にパソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで接続します。

●FOMA端末とパソコンの接続については、FOMA端末の『取扱説明書 データ通信編』をご覧ください。

●パソコンへの通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、FOMA端末の『取扱説明書 データ通信編』をご覧ください。

●N2001をご利用のお客様でWindows® XP環境のパソコンへ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールされる場合、またはN2002をご利用のお客様でWindows® XPの通信設定ファイル（ドライバ）が添付されていない場合は、ドコモFOMAサイトのダウンロードページをご覧ください。

第3章 データリンクソフトの操作

本章では、データリンクソフトの基本的操作方法を紹介するとともに、電話帳、スケジュール／ToDo、iモードメール、SMSメール、テキストメモ、オリジナル着信音、オリジナルイメージ、オリジナルiモーション、ブックマークの編集操作について説明します。

- 本書の説明はWindows® XP環境でN2051／N2701のデータを編集する内容です。Windows® Me、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® 2000 Professional環境で編集する場合は表示される画面が若干異なることがあります。また、設定できない項目は、画面上で淡色に表示されます。
- “はじめにお読みください”に基本的な注意事項・補足説明を記載していますので、本ソフトをご利用いただく前にご覧ください。“はじめにお読みください”は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[FOMA Nシリーズ データリンクソフト ver1.11]－[はじめにお読みください]を選択すると表示されます。
- ご使用の前にFOMA端末の日付・時刻を設定してください。

データリンクソフトの起動と終了

ここではデータリンクソフトの起動と終了について説明します。

起動操作

1 [スタート]－[すべてのプログラム]から[FOMA Nシリーズ データリンクソフト ver1.11]を選択する

データリンクソフトが起動し、【初期環境設定】画面が表示されます。

2【初期環境設定】画面の各項目を設定する

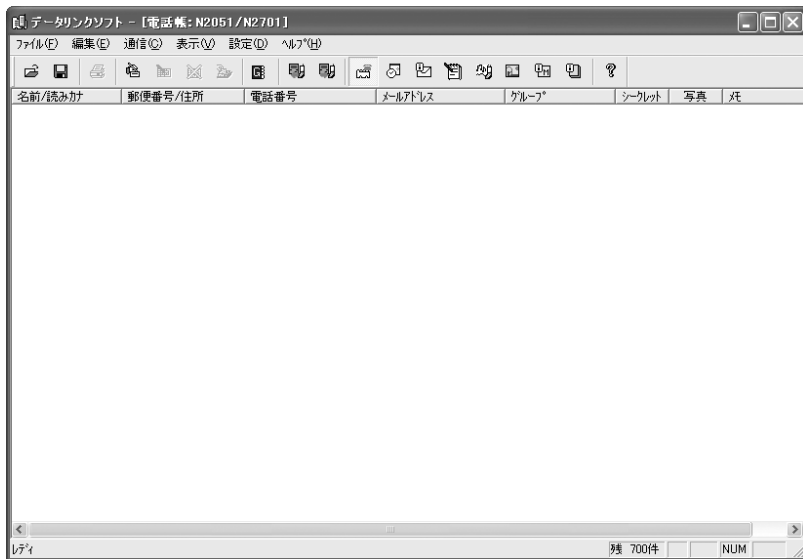
[1] FOMA端末の機種を選択します。

[2] パソコンのポート番号を選択します。
FOMA端末をUSBポートに接続すると、【デバイスマネージャ】画面の「ポート(COMとLPT)」に「FOMA N2xxx OBEX Port(COMxx)」という項目が表示されます。この項目の“COMxx”が設定するポート番号で、“xx”には1～256の数字が入ります。また“N2xxx”にはパソコンに接続したFOMA端末の機種名が表示されます。

●【初期環境設定】画面は、インストール後、初めて起動したときのみ表示されます。2回目以降の起動の際に、機種選択とポート番号を変更する場合は、『データリンクソフトの共通操作(12ページ)』をご覧ください。

●設定した内容は、本ソフトを終了しても保持されます。接続するFOMA端末の機種を変更するまでは、設定をしなおす必要はありません。

3 ＜OK＞ボタンを押す

【電話帳】画面が表示されます。

●起動時に表示する画面は、環境設定で変更できます。（81ページ参照）

終了操作

1 **[ファイル]－[アプリケーションの終了]を選択する**

データリンクソフトが終了します。

データリンクソフトの共通操作

ここでは本ソフトの共通操作（編集画面を表示する、FOMA端末からデータを読み込む、FOMA端末にデータを書き込む）について説明します。

- FOMA端末と通信する際、電話帳等の登録件数によっては、読み込みおよび書き込みに時間がかかる場合があります。
- データの読み込み・書き込みをする際、ロック／セキュリティの各種設定・指定発信制限の設定を解除してください。また、iモード通信を行っている場合や、マルチタスクで他の機能を起動している場合は、すべて終了してください。詳しくは、『付録1 データ転送時のFOMA端末の設定について（82ページ）』をご覧ください。
- データの転送中に着信やメール受信があった場合は、通信エラーとなり転送を中断する場合があります。中断した場合には、再度データの転送を行ってください。
- FOMA端末の機種により利用できる機能に制限があります。詳細は『付録2 FOMA端末の機種による違い（83ページ）』をご覧ください。

編集画面を表示する

1 FOMA端末の機種を選択する

ご使用のFOMA端末の機種を選択します。

① **【電話帳】画面で[設定]－[携帯電話種別変更]から該当するFOMA端末の機種を選択する**

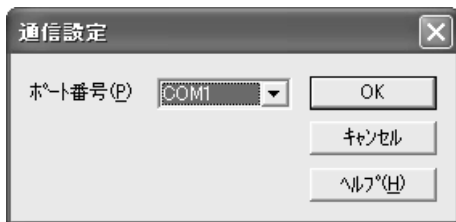
- 本ソフトを起動した場合、携帯電話機種は前回終了時に設定されていた機種となっています。異なる機種のデータを編集する場合は、上記の手順で機種を変更します。また、パソコン上に保存した電話帳（.fa1）を開いた場合は、ファイル形式から自動的に機種が選択されます。

2 **通信ポートを設定する**

FOMA USB接続ケーブルを接続したポート番号を設定します。初回起動時の【初期環境設定】画面(9ページ参照)で設定した内容に変更がない場合は、手順***3*** へ進みます。

① **[設定]－[通信設定]を選択する**

【通信設定】画面が表示されます。

② **ポート番号を選択し、<OK>ボタンを押す**

3 **操作するデータの編集画面に切り替える**

①**[表示]メニューまたはツールバーから以下の画面を選択する**

- 電話帳 →【電話帳】画面
- スケジュール／ToDo →【スケジュール／ToDo】画面
- iモードメール、SMSメール →【メール】画面
- テキストメモ →【テキストメモ】画面
- オリジナル着信音 →【オリジナル着信音】画面
- オリジナルイメージ →【オリジナルイメージ】画面
- オリジナルiモーション →【オリジナルiモーション】画面
- ブックマーク →【ブックマーク】画面

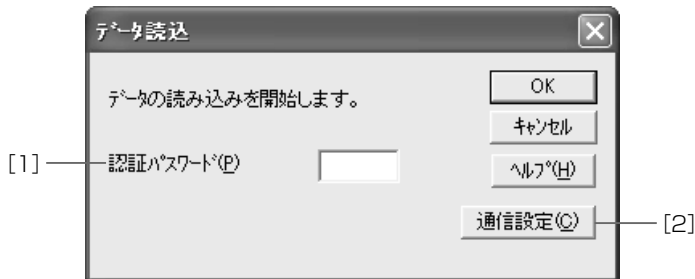
●データの編集を開始する前に、まずFOMA端末の機種を選択してください。機種設定が違っているとデータを転送した際にエラーメッセージが表示されます。

●画面を選択しF1を押すと、選択している編集画面を説明したヘルプが表示されます。

FOMA端末からデータを読み込む

画面上にFOMA端末のデータを読み込み、データ編集などを行います。
オリジナル着信音、オリジナルイメージ、オリジナルiモーションを読み込む場合は、画面左側のツリービューからデータを保存するフォルダを選択しておきます。

1 **[通信]－[データ読込]を選択する**

【データ読込】画面が表示されます。

[1] 認証パスワード(4桁)を入力します。

[2]【通信設定】画面を表示します。(13ページ参照)

2 **[認証パスワード]を入力して＜OK＞ボタンを押す**

FOMA端末に“端末暗証番号は？”と表示されます。

> 重要
> ●N2001／N2002では“暗証番号は？”と表示されます。
> ●N2051／N2701ではデータを読み込む場合、データ情報から読み込みます。このため、N2051／N2701に表示されるプログレスバーは、いったん最大表示されます。

3 **FOMA端末で端末暗証番号と手順*2*で入力した認証パスワードを入力する**

【データ転送】画面が表示され、データが読み込まれます。

FOMA端末にデータを書き込む

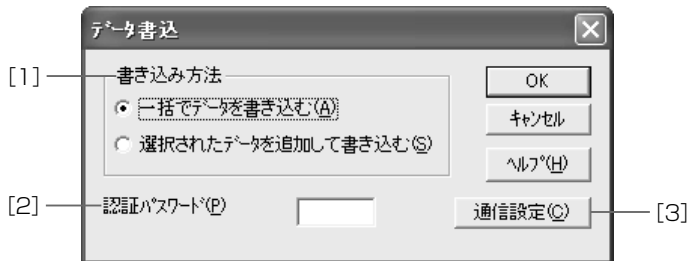
選択したデータだけを書き込む場合は、あらかじめ各編集画面の一覧表示上でデータを選択しておきます。

例：【電話帳】画面でデータを1件選択したところ

1 [通信]－[データ書込]を選択する

重要

●「一括でデータを書き込む」を指定すると、FOMA端末の転送対象データは、本ソフトの画面に表示されている内容にすべて上書きされます。データが表示されていないときに「一括でデータを書き込む」を指定すると、FOMA端末の転送対象データはすべて消去されますのでご注意ください。また、「選択されたデータを追加して書き込む」を指定する場合、書き込みデータの選択は1件ずつとなります。N2001／N2002の送信／受信メールの場合は、複数選択できます。
●N2051／N2701の送信／受信メールの書き込み時は、「一括でデータを書き込む」が「選択されたデータを全て書き込む」と表示され、FOMA端末の送信／受信メールデータは複数選択されたデータで上書きされます。
●オリジナル着信音、オリジナルイメージ、オリジナルiモーション、新規メールの書き込み時は、【データ書込】画面は表示されません。
●FOMA端末へデータを書き込み中にFOMA USB接続ケーブルを抜くと、FOMA端末に登録していたデータが消去される場合がありますのでご注意ください。

【データ書込】画面が表示されます。

[1] リスト上のデータをすべて書き込む場合は「一括でデータを書き込む」を指定します。選択したデータだけを書き込む場合は「選択されたデータを追加して書き込む」を指定します。
[2] 認証パスワード(4桁)を入力します。
[3] 【通信設定】画面を表示します。(13ページ参照)

2 書き込み方法を指定し、認証パスワードを入力して＜OK＞ボタンを押す

【データ転送】画面が表示され、FOMA端末に“端末暗証番号は？”と表示されます。

- ●N2051／N2701へ選択したデータだけを書き込む場合は、FOMA端末に暗証番号要求のメッセージ（“端末暗証番号は？”）は表示されません。
- ●N2001／N2002では、FOMA端末に“暗証番号は？”と表示されます。

3 FOMA端末で端末暗証番号と手順*2* で入力した認証パスワードを入力する

- ●N2051／N2701では「選択されたデータを追加して書き込む」を指定すると、データ転送終了後に登録を確認するメッセージがFOMA端末に表示されます。登録する場合は“YES”を、登録しない場合は“NO”を選択してください。

【データ転送】画面が表示され、データが書き込まれます。

絵文字の挿入方法

スケジュール／ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークの追加・編集では、一覧やボタンを使用して"絵文字"を挿入できる項目があります。

例：【テキストメモの追加】画面

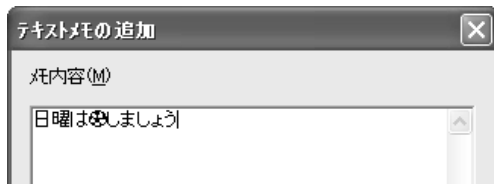
1 **<絵文字入力>ボタンを押す**

【絵文字入力】画面が表示されます。

N2051／N2701の場合

N2001／N2002の場合

2 **絵文字を選択し、<挿入>ボタンを押す**

入力欄に絵文字が挿入されます。

3 **<OK>ボタンを押す**

【絵文字入力】画面が閉じます。

●【絵文字入力】画面で「絵文字1」、「絵文字2」タブが表示されるのは、N2051／N2701のみです。

電話帳

- ●データの読み込み・書き込みは、FOMA端末(本体)とのみ行えます。FOMAカードのデータを読み込む場合、FOMA端末(本体)にデータをコピーしてください。FOMAカードにデータを書き込む場合、FOMA端末(本体)からデータをコピーしてください。
- ●FOMA端末からデータを読み込む場合、編集画面では電話帳のメモリ番号にかかわらず50音順で表示されます。

電話帳の追加・編集・削除・切り取り・コピー・貼り付け

ここでは、電話帳の編集方法を説明します。

電話帳の追加

1 【電話帳】画面を表示する(12ページ参照)

2 **[編集]－[電話帳の追加]を選択する**

【電話帳の追加】画面が表示されます。

N2051／N2701の場合（名前／電話帳タブ選択時）：

N2051／N2701の場合(住所／メモ／写真タブ選択時)：

N2001／N2002の場合：

[1]　パソコン上で登録可能な電話帳の残り件数、電話番号の残り件数、メールアドレスの残り件数を表示します。

[2]　名前を入力します。漢字(JIS第一水準および第二水準)、ひらがな、カタカナ、英字、数字、またFOMA端末で対応している記号を入力できます。登録できる最大文字数は、「姓」と「名」をあわせて全角16文字、半角32文字です。

●テキスト形式で保存する場合、半角ダブルコーテーション(")および半角カンマ(,)は、パソコン上でデータの区切文字として扱われるため、名前／読みカナ・住所・メモに入力しないでください。

[3]　読みカナを入力します。半角英数字およびカナで入力できます。登録できる最大文字数は、姓／名2箇所の「カナ」をあわせて32文字です。

●電話帳へは、「姓」、「名」のいずれかを必ず入力してください。

[4]　電話帳をシークレットで登録する場合に指定します。

[5]　電話帳を登録するグループ名を選択します。グループ登録しない場合には、“グループ登録なし”を選択します。

[6]　電話帳に登録されている、電話番号とメールアドレスの一覧が表示されます。
電話番号やメールアドレスを選択してから、<↓>ボタンや、<↑>ボタンを押すと、電話番号とメールアドレスの順序を変更することができます(電話番号とメールアドレスを入れ替えることはできません)。

[7]　<電話番号追加>ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

[8]　<メールアドレス追加>ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

[9]　「電話番号＆メールアドレス」で選択したデータを変更することができます。電話番号を選択したときは、【電話番号入力】画面が表示されます。メールアドレスを選択したときは、【メールアドレス入力】画面が表示されます。

[10]「電話番号＆メールアドレス」で選択したデータを削除します。

[11] 郵便番号を入力します。半角数字で7桁まで入力でき、「 - 」を入力する必要はありません。

[12] 住所を入力します。全角46文字、半角93文字まで入力できます。

[13] メモを入力します。全角50文字、半角100文字まで入力できます。

[14] 登録した写真が表示され、画像の内容を確認することができます。

[15] 電話帳に登録できる写真データの残り件数を表示します。

[16] チェックボックスをオンにすると、電話帳に写真を登録できます。

[17] 電話帳に登録する写真データを選択します。<参照>ボタンを押すと【ファイルを開く】画面が表示されます。

●登録できる写真は、再配布可能な容量20KB、横幅640ドットまでのJPEG形式のデータです。なお、縦幅はデータによって書き込めるサイズが変動します。

[18] 電話番号を市外局番から入力します。N2051／N2701では最大26桁まで、N2001／N2002では最大20桁まで入力できます。

●「電話番号」に入力できるのは、半角(1バイト)の数字とp(小文字)、#、＊のみです。ハイフン(-)などは使用できません。

[19] 電話番号のアイコンを選択します。

[20] メールアドレスを入力します。半角英数字で最大50文字まで入力できます。

[21] メールアドレスのアイコンを選択します。

3 追加する項目を入力して、＜OK＞ボタンを押す

●電話番号とメールアドレスのアイコンの絵柄は、FOMA端末の機種によって異なります。
●電話帳を1件選択している場合は、その電話帳の上に新しいデータが追加されます。電話帳を選択していない場合または複数選択している場合は、一覧画面の一番下に追加されます。

4 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

電話帳の編集

1 【電話帳】画面を表示する（12ページ参照）

2 FOMA端末に登録されているデータを修正する場合は、電話帳を読み込む（14ページ参照）

3 修正する電話帳を選択し、[編集]－[電話帳の編集]を選択する

【電話帳の編集】画面が表示されます。

4 データを修正して＜OK＞ボタンを押す

修正した内容が上書きされます。修正できるデータの項目は『電話帳の追加（20ページ参照）』と同じです。

5 FOMA端末にデータを書き込む（15ページ参照）

【電話帳】画面を表示しているときに、以下の操作を利用すると、データの順番を入れ替える時やデータを整理してパソコンに保存するときに便利です。

電話帳の削除

1 削除したい電話帳を選択する

2 [編集]－[電話帳の削除]を選択する

【削除】画面が表示されます。

3 ＜はい＞ボタンを押す

電話帳の切り取りと貼り付け

1 切り取りたい電話帳を選択する

2 [編集]－[電話帳の切り取り]を選択する

切り取りを中止するときは、[編集]－[電話帳の切り取り中止]を選択します。
切り取り中は、[電話帳の切り取り中止]、[電話帳の貼り付け]以外を選択することはできません。

3 **貼り付けたい位置の1つ下の電話帳を選択し、[編集]－[電話帳の貼り付け]を選択する**

切り取った電話帳が貼り付けられます。

●貼り付け位置を選択せずに[電話帳の貼り付け]を選択すると、電話帳一覧の一番下に貼り付けられます。また、複数の電話帳を選択していたときも、一番下に貼り付けられます。

電話帳のコピーと貼り付け

データをコピーし貼り付けを行った後、そのデータを編集して新しく電話帳を作成することができます。

1 **コピーしたい電話帳を選択する**

2 **[編集]－[電話帳のコピー]を選択する**

コピーを中止するときは、[編集]－[電話帳のコピー中止]を選択します。
コピー中は、[電話帳のコピー中止]、[電話帳の貼り付け]以外を選択することはできません。

3 **貼り付けたい位置の1つ下の電話帳を選択し、[編集]－[電話帳の貼り付け]を選択する**

コピーした電話帳が貼り付けられます。

●写真データをコピーすることはできません。
●貼り付け位置を選択せずに[電話帳の貼り付け]を選択すると、電話帳一覧の一番下に貼り付けられます。また、複数の電話帳を選択していたときも、一番下に貼り付けられます。
●残り電話番号登録件数が3件以下、または残りメールアドレス登録件数が2件以下の場合は、電話帳をコピーすることはできません。

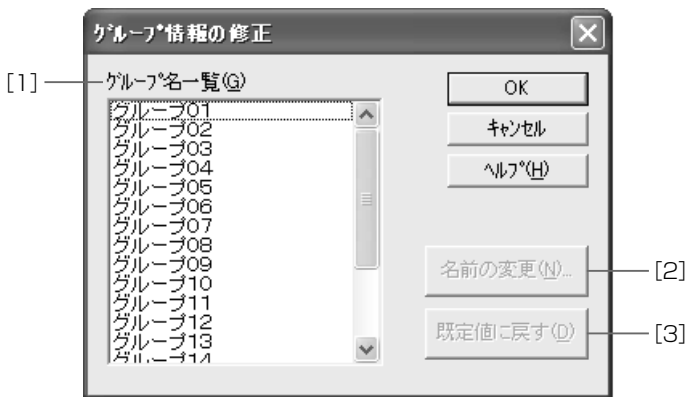
電話帳グループ情報の編集

電話帳のグループ名を変更することができます。

1 **【電話帳】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **FOMA端末に登録されているデータを編集する場合は、電話帳を読み込む(14ページ参照)**

3 **[編集]－[グループ情報の修正]を選択する**

【グループ情報の修正】画面が表示されます。

[1] グループ名が19件表示されます。1件につき、N2051／N2701では全角10文字、半角21文字まで、N2001／N2002では全角10文字、半角20文字まで登録できます。

[2]【名前の変更】画面が表示されます。

[3] グループ名を選択しボタンを押すと、グループ01～19の初期値に戻ります。

4 変更したいグループを選択し、＜名前の変更＞ボタンを押す

【名前の変更】画面が表示されます。

[1] グループ名を入力します。登録できる最大文字数は、N2051／N2701で全角10文字、半角21文字、N2001／N2002で全角10文字、半角20文字です。

5 グループ名を修正し＜OK＞ボタンを押す

「グループ名一覧」が更新されます。

6 ＜OK＞ボタンを押す

7 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

●グループ内に1件も電話帳が登録されていない場合、そのグループ名はFOMA端末へ転送されません。

電話帳の検索

名前や電話番号などに含まれる文字列で、電話帳の一覧を検索することができます。

1 **【電話帳】一覧画面で[編集]－[検索]を選択する**

【検索】画面が表示されます。

[1] 検索する項目を選択します。

[2] 検索する文字列を入力します。

[3] 入力した文字列が含まれるデータを探します。

2 **各項目を入力し<次を検索>ボタンを押す**

【電話帳】画面上で検索結果の1件目が反転表示されます。次のデータを探す場合は、<次を検索>ボタンを押します。なお、【検索】画面を閉じた後でも[編集]－[次を検索]を選択すると、続けて検索することができます。

スケジュール／ToDo

スケジュール／ToDoを追加・編集することができます。

重要

●ToDoを編集／転送できるのは、N2051／N2701のみです。

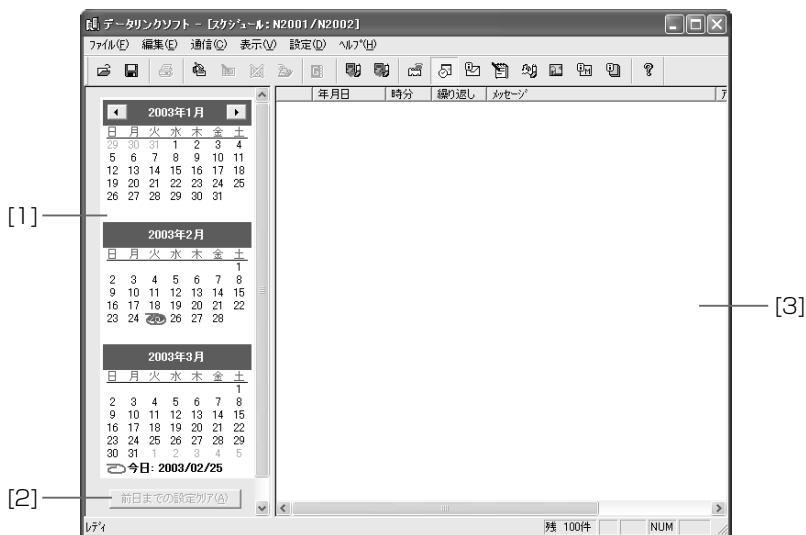
スケジュール／ToDoの追加・編集・削除

ここでは、スケジュール／ToDoの編集方法を説明します。

スケジュール／ToDoの追加

1 【スケジュール／ToDo】／【スケジュール】画面を表示する（12ページ参照）

N2051／N2701の場合：

N2001／N2002の場合：

[1] 太字で表示されている日付には、スケジュール／ToDoが設定されています。太字の日付を選択すると、設定されているスケジュール／ToDoが、[3]／[4]で選択されます。

[2] 前日までのスケジュールを消去します。

[3] 設定されているスケジュールが一覧表示されます。先頭の をクリックすると「アラーム通知しない」になります。

[4] 設定されているToDoが一覧表示されます。ToDoが完了していると、先頭の□に✓がつきます。□をクリックすると✓がつき、ToDoが完了になります。

2 **スケジュール一覧を選択して、[編集]－[スケジュールの追加]を選択する**

【スケジュールの追加】画面が表示されます。
ToDo一覧を選択して、[編集]－[ToDoの追加]を選択すると【ToDoの追加】画面が表示されます。

【スケジュールの追加】画面

N2051／N2701の場合：

N2001／N2002の場合：

[1]　スケジュール機能を動作させる日時を設定します。▼をクリックするとカレンダーが表示され、年月日を選択することができます。また、数字をマウスで選択しキーボードから直接、入力することもできます。

[2]　アラーム音のあり、なしを選択します。

[3]　事前通知のあり、なしを選択します。
「あり」を選択した場合は、事前通知の時間もあわせて選択します。

[4]　アイコンを選択します。

[5]　スケジュールメッセージを入力します。全角で最大256文字、半角で最大512文字まで入力できます。

[6]　シークレットで登録するか、しないかを選択します。

[7]　繰り返しかたを選択します。
「曜日指定」を選択した場合は、繰り返す曜日もあわせて選択します。

[8]　「メッセージ」に絵文字を入力する時に使用します。（18ページ参照）

重要

●曜日指定された毎週繰り返しのスケジュールをN2001へ書き込んだ場合、曜日指定が無効となり「年月日設定」での毎週繰り返しとなります。
（例）「年月日設定」を2003年XX月XX日木曜日とし、毎週繰り返しの曜日指定を日・月・火と設定したスケジュールを書き込んだ場合
→N2001では曜日指定が無効となり、木曜日の毎週繰り返しとなります。
●N2002に書き込めるスケジュールは、「年月日設定」が2001年1月1日以降のデータです。それ以前のスケジュールは書き込みできません。

【ToDoの追加】画面（N2051／N2701のみ）

[9]　ToDoの本文を入力します。全角で最大100文字、半角で最大200文字まで入力できます。

[10]　ToDoの優先度を選択します。

[11]　完了しているかしていないかを選択します。

[12]　「本文」に絵文字を入力する時に使用します。（18ページ参照）

[13] 期日のあり、なしを選択します。「あり」を選択した場合は、年月日もあわせて選択します。「年月日設定」の▼をクリックするとカレンダーが表示され、年月日を選択することができます。また、数字をマウスで選択しキーボードから直接、入力することもできます。

[14] カテゴリーを選択します。

3 **FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)**

スケジュール／ToDoの編集

1 **【スケジュール／ToDo】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **FOMA端末に登録されているデータを修正する場合は、スケジュールまたはToDoを読み込む(14ページ参照)**

3 **修正するスケジュールまたはToDoを選択する**

4 **[編集]－[スケジュールの編集]／[ToDoの編集]を選択する**

【スケジュールの編集】／【ToDoの編集】画面が表示されます。

5 **データを修正して<OK>ボタンを押す**

修正できるデータの項目は『スケジュール／ToDoの追加(33ページ参照)』と同じです。

6 **FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)**

【スケジュール／ToDo】画面を表示しているときに、以下の操作を利用し不要なデータを削除することができます。

スケジュール／ToDoの削除

1 **削除したいスケジュールまたはToDoを選択する**

2 **[編集]－[スケジュールの削除]／[ToDoの削除]を選択する**

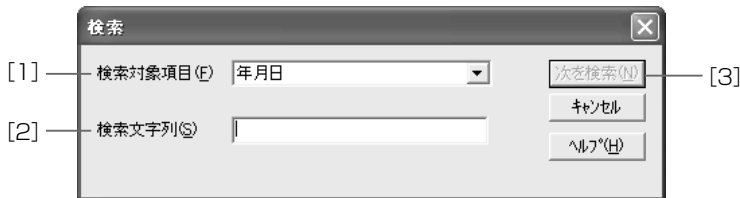
【削除】画面が表示されます。

3 **＜はい＞ボタンを押す**

スケジュール／ToDoの検索

年月日やメッセージ、アイコンの種類（「予定」、「食事」など）の文字列から、スケジュール／ToDoの一覧を検索することができます。

1 **【スケジュール／ToDo】一覧画面で、[編集]－[検索]を選択する**

【検索】画面が表示されます。

[1] 検索する項目を選択します。

[2] 検索する文字列を入力します。

[3] 入力した文字列が含まれるデータを探します。

2 **各項目を入力し＜次を検索＞ボタンを押す**

【スケジュール／ToDo】画面上で検索結果の1件目が反転表示されます。次のデータを探す場合は、＜次を検索＞ボタンを押します。なお、【検索】画面を閉じた後でも[編集]－[次を検索]を選択すると、続けて検索することができます。

メール

iモードメール、SMS(ショートメッセージサービス)の新規作成や閲覧、編集をすることができます。iモードメールとSMSメールを分けて編集できるのはN2051／N2701のみです。N2001／N2002の場合、iモードメールとSMSメールを分けずにメールとして1つに扱います。どちらのメールにするかは、N2001／N2002側で行います。メール編集は、N2051／N2701のiモードメールと同じ操作になります。SMSメールで送信する場合の制限などは、N2001／N2002の『取扱説明書』をご覧ください。

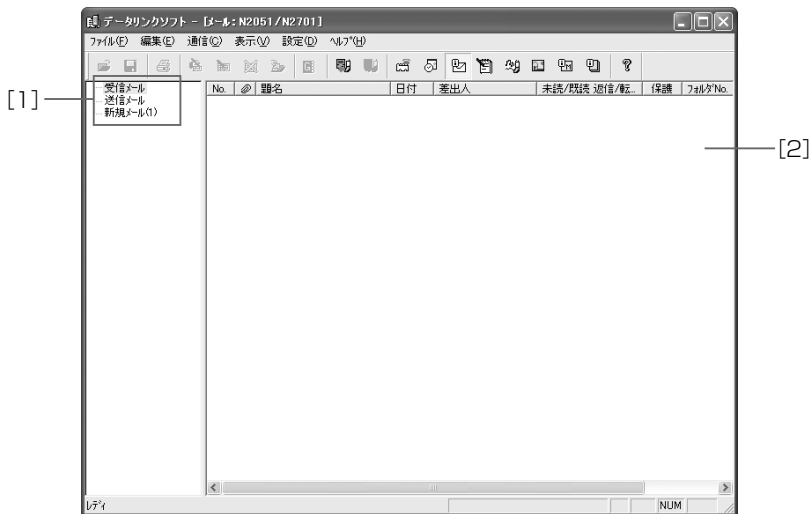
- FOMA端末への新規メールの書き込みは1件ずつとなります。書き込み終えた新規メールはデータリンクソフトから削除されます。
- N2051／N2701でFOMA端末に受信／送信メールを書き込む場合は、「選択されたデータを全て書き込む」または「選択されたデータを追加して書き込む」から書き込み方法を選ぶことができます。「選択されたデータを追加して書き込む」でのデータ選択は、1件ずつとなります。
- N2001／N2002でFOMA端末に受信／送信メールを書き込む場合は、「選択されたデータを追加して書き込む」方法のみとなります。書き込みデータは1度に複数選択できます。
- 受信／送信メールの「選択されたデータを追加して書き込む」を行う場合、フォルダ設定・保護は解除されて書き込まれます。
- iモードメールを読み込む場合、メールに添付されているMFi形式のメロディデータ、またはFOMA端末外への出力が禁止されているデータなどは読み込まれません。受信メールに添付されているiモーションは読み込まれません。
- FOMA端末からデータを読み込む場合、受信メールと送信メールの両方を読み込みますが、読み込み済みのメールと比較し、同じメールは読み込みません。また、FOMA端末で送信を完了していないメールは読み込みません。
- SMSメールの読み込み・書き込みは、FOMA端末(本体)とのみ行えます。FOMAカードのSMSメールを読み込む場合、FOMA端末(本体)にSMSメールをコピーしてください。FOMAカードにSMSメールを書き込む場合、FOMA端末(本体)からSMSメールをコピーしてください。

iモードメール／SMSメールの追加・編集／閲覧・削除・複写

ここでは、メールの編集方法を説明します。

iモードメール／SMSメールの追加

あらかじめ【電話帳】画面にFOMA端末からデータを読み込んでおくと、「宛先一覧」に読み込んだ電話帳が表示されメールの宛先として指定することができます。

1 【メール】画面を表示する（12ページ参照）

[1] FOMA端末のデータが、それぞれのフォルダに読み込まれ、パソコン上に保存されます。フォルダを選択すると[2]に表示されるメール一覧が切り換わります。

[2] [1]で選択したフォルダのメール一覧が表示されます。データをダブルクリックすると、受信メール／送信メールでは【メールの閲覧】画面が、新規メールでは【メールの編集】画面が表示されます。また、受信メール／送信メールでは、選択したメールに添付ファイルがあると「📎」欄に📎アイコンが表示されます。

2 **N2051／N2701でiモードメールを作成する場合は、[設定]－[メール設定]－[iモードメール]を選択する**
SMSメールを作成する場合は、[設定]－[メール設定]－[SMSメール]を選択する
N2001／N2002の場合は、そのまま手順***3***へ進みます。

3 **画面左側の「新規メール」を選択し、[編集]－[メールの追加]を選択する**
【メールの追加】画面が表示されます。

[1]　宛先を直接、入力します。半角英数字で最大50文字まで入力できます。
SMSメールで宛先として指定できるのは、半角数字で26文字までの電話番号のみです。

[2]　本ソフト上の電話帳から宛先を指定します。
<宛先>ボタンを押すと、次の画面が表示されます。宛先を選択して、<OK>ボタンを押してください。

[3]　<追加>ボタンを押すと、[1]に入力した宛先が、[8]に追加されます。

[4]　[8]に表示されている宛先を編集します。
[8]で宛先を選択して、<編集>ボタンを押すと、次の画面が表示されます。宛先を編集して、<OK>ボタンを押してください。

[5]　[8]で宛先を選択して、＜削除＞ボタンを押すと、宛先が削除されます。

[6]　作成するiモードメールのタイトルを入力します。半角で最大30文字まで、全角で最大15文字まで入力できます。＜絵文字入力＞ボタンから絵文字を選択して入力することができます。SMSメールでは、題名の入力はできません。

[7]　メールの本文を入力します。iモードメールでは、半角で最大10000文字まで、全角で最大5000文字まで入力できます。SMSメールでは、半角で最大160文字まで、全角で最大80文字まで入力できます。改行(コード)も全角1文字としてカウントされます。iモードメールでは、＜絵文字入力＞ボタンから絵文字を入力することができます。

●SMSメールの本文編集画面では、全角80文字分まで入力できますが、送信できる文字数は全角70文字、半角の英数字や記号(。「」{ } [ ] |、・_゛゜^ ` ~ を除く)のみでは160文字までです。
●SMSメールでは、絵文字の入力ができません。

[8]　メールの宛先が表示されます。ここに表示されている宛先にのみ、メールが送信されます。

[9]　「本文」に入力した文章を画面の右端で自動的に折り返して表示する場合に指定します。

[10]　絵文字を入力する時に使用します。(18ページ参照)

[11]　本ソフトで編集中の電話帳に登録されているメールアドレス、または電話番号が名前と一緒に一覧表示されます。「宛先一覧表示方法」でグループ指定をした場合は、選択したグループに登録されている宛先が一覧表示されます。

[12]　[11]に表示する情報を選択します。N2051／N2701でメール設定をSMSメールに指定した場合、選択できるのは「電話番号」のみです。

[13]　＜追加＞ボタンを押すと、[11]で選択した宛先が、[15]に追加されます。

[14]　[15]で宛先を選択して、＜削除＞ボタンを押すと、宛先が削除されます。

[15]　メールに追加する宛先が表示されます。＜OK＞ボタンを押すと、ここに表示されている宛先が、[8]に追加されます。

4 **メールの内容を入力して＜OK＞ボタンを押す**

5 **FOMA端末にデータを書き込む（15ページ参照）**

●題名に絵文字が使われていたり、本文に半角カタカナや絵文字が使われていると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモードどうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。

iモードメール／SMSメールの編集／閲覧

新規作成したメールの編集や、FOMA端末から読み込んだ受信メール／送信メールを閲覧することができます。【メールの閲覧】画面では、添付ファイルの有無も表示されます。

1 **【メール】画面を表示する（12ページ参照）**

2 **FOMA端末に登録されているデータをもとにする場合は、メールを読み込む（14ページ参照）**

3 **編集または閲覧したいメールを選択する**

4 **［編集］－［メールの編集／閲覧］を選択する**

手順***3*** で新規メールを選択していた場合は【メールの編集】画面が、受信／送信メールを選択していた場合は【メールの閲覧】画面が表示されます。

【メールの編集】画面：

選択したメールが入力された状態で、【メールの追加】画面（42ページ参照）と同じ項目が表示されます。データを修正して＜OK＞ボタンを押すと、上書き保存されます。修正できるデータの項目は『iモードメール／SMSメールの追加（41ページ参照）』と同じです。

【メールの閲覧】画面：

[1] 受信メール選択時は「差出人」、送信メール選択時は「宛先」が表示されます。
[2] 選択したメールの題名が表示されます。SMSメールでは表示されません。
[3] 選択したメールの本文が表示されます。
[4] 選択したメールの内容が入力された状態で【メールの追加】画面が表示され、返信メールを作成できます。（48ページ参照）
[5] 選択したメールの内容が入力された状態で【メールの追加】画面が表示され、転送メールを作成できます。（48ページ参照）

[6] 選択したメールの内容が入力された状態で【メールの追加】画面が表示されます。

[7] ボタンを押すとひとつ前のメールを表示します。

[8] ボタンを押すと次のメールを表示します。

[9] 選択したメールに添付ファイルがある場合クリップマーク[0]を表示します。添付ファイルの保存については、79ページをご覧ください。

5 メールを編集した場合は、FOMA端末にデータを書き込む（15ページ参照）

【メール】画面を表示しているときに、以下の操作を利用し不要なメールを削除したり、複写したメールを編集し新規メールを作成することができます。

iモードメール／SMSメールの削除

1 削除したいメールを選択する

2 [編集]－[メールの削除]を選択する

【削除】画面が表示されます。

3 ＜はい＞ボタンを押す

パソコン上のiモードメール／SMSメールが削除されます。

iモードメール／SMSメールの複写

1 複写元のメールを選択する

2 [編集]－[メールの複写]を選択する

複写元のデータが入力された状態で【メールの追加】画面が表示されます。

3 内容を修正して＜OK＞ボタンを押す

「新規メール」にデータが追加されます。

- 受信メールから複写を行った場合、メール設定(iモードメール／SMSメール)は同形式での追加となります。
- すでに新規メールが、N2051／N2701では10件、N2001／N2002では5件登録されていると、[メールの複写]を選択することができません。不要な新規メールを削除してから、選択しなおしてください。

返信メール／転送メールの作成

受信メールや送信メールをもとに返信メールや転送メールを作成します。受信メールから返信／転送を行った場合、メール設定(iモードメール／SMSメール)は同形式での追加となります。

1 **【メール】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **FOMA端末に登録されているデータをもとにする場合は、メールを読み込む(14ページ参照)**

3 **返信メール／転送メールのもとにするメールを選択する**

4 **返信メールを作成する場合は[編集]－[メールの返信]を、転送メールを作成する場合は[編集]－[メールの転送]を選択する**

もとのメールの内容が入力された状態で、【メールの追加】画面が表示されます。

5 **データを編集し、<OK>ボタンを押す**

「新規メール」にデータが追加されます。編集できるデータの項目は『iモードメール／SMSメールの追加(41ページ参照)』と同じです。

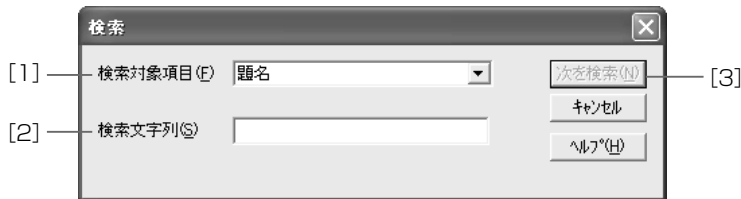
6 **FOMA端末に作成したデータを書き込む(15ページ参照)**

- 返信／転送メールは、【メールの閲覧】画面で<返信>または<転送>ボタンを押しても作成できます。
- すでに新規メールが、N2051／N2701では10件、N2001／N2002では5件登録されていると、[メールの転送]または[メールの返信]を選択することができません。不要な新規メールを削除してから、選択しなおしてください。

メールの検索

題名や日付などの文字列から、メールの一覧を検索することができます。

1 **【メール】画面で、[編集]－[検索]を選択する**

【検索】画面が表示されます。

[1] 検索する項目を選択します。

[2] 検索する文字列を入力します。

[3] 入力した文字列が含まれるデータを探します。

2 **各項目を入力し<次を検索>ボタンを押す**

【メール】画面上で検索結果の1件目が反転表示されます。次のデータを探す場合は、<次を検索>ボタンを押します。なお、【検索】画面を閉じた後でも[編集]－[次を検索]を選択すると、続けて検索することができます。

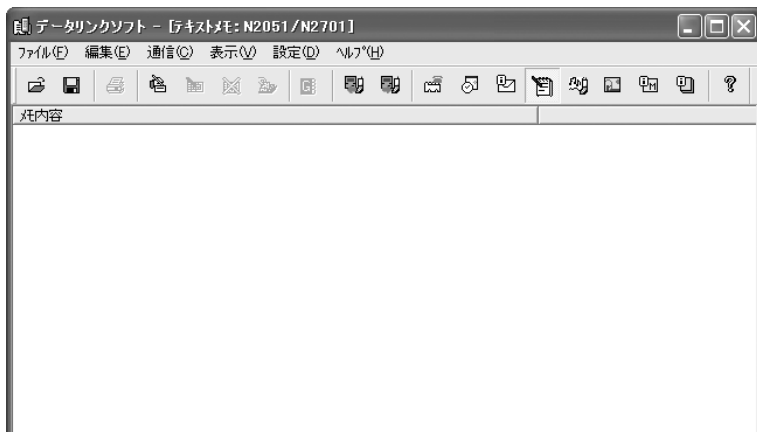
テキストメモ

テキストメモの内容を編集しFOMA端末に登録したり、パソコン上で参照することができます。

テキストメモの追加・編集・削除・複写

ここでは、テキストメモの編集方法を説明します。

テキストメモの追加

1 【テキストメモ】画面を表示する（12ページ参照）

2 [編集]－[テキストメモの追加]を選択する

【テキストメモの追加】画面が表示されます。

[1] メモを入力します。<絵文字入力>ボタンから絵文字を入力することができ、全角で最大256文字、半角で最大512文字まで入力できます。
「メモ内容」を空欄にすると、<OK>ボタンを押せません。

[2] 「メモ内容」に絵文字を入力する時に使用します。(18ページ参照)

3 メモの内容を入力して<OK>ボタンを押す

4 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

テキストメモの編集

1 【テキストメモ】画面を表示する(12ページ参照)

2 FOMA端末に登録されているデータを修正する場合は、テキストメモを読み込む(14ページ参照)

3 修正するテキストメモを選択する

4 [編集]−[テキストメモの編集]を選択する

【テキストメモの編集】画面が表示されます。

5 データを修正して＜OK＞ボタンを押す

修正できる項目は『テキストメモの追加(50ページ参照)』と同じです。

6 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

重要

●FOMA端末に登録できるテキストメモは、N2051／N2701で10件、N2001／N2002で5件までです。

【テキストメモ】画面を表示しているときに、以下の操作を利用し不要なテキストメモを削除したり、複写したテキストメモを編集し別のテキストメモを作成することができます。

テキストメモの削除

1 削除したいテキストメモを選択する

2 [編集]−[テキストメモの削除]を選択する

【削除】画面が表示されます。

3 ＜はい＞ボタンを押す

テキストメモの複写

1 **引用するテキストメモを選択し、[編集]－[テキストメモの複写]を選択する**

一覧画面の一番下にテキストメモが複写されます。

2 **[編集]－[テキストメモの編集]を選択し、メモ内容を修正する**

修正できる項目は『テキストメモの追加(50ページ参照)』と同じです。

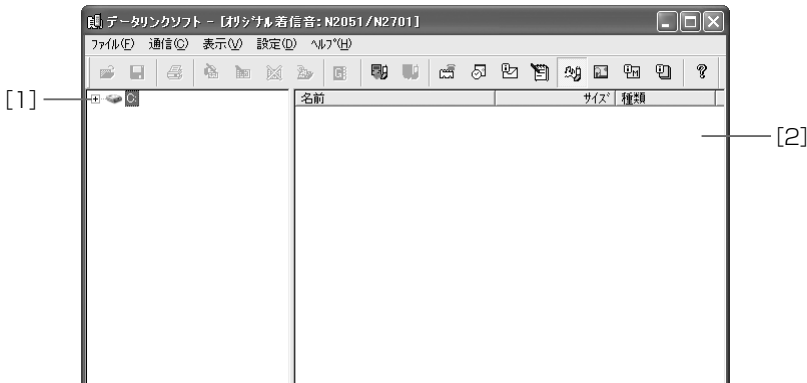
●すでにテキストメモが、N2051／N2701では10件、N2001／N2002では5件登録されていると、[テキストメモの複写]を選択することはできません。不要なテキストメモを削除してから、選択しなおしてください。

オリジナル着信音

パソコンとFOMA端末または、FOMA端末どうしでオリジナル着信音を転送することができます。

重要
- オリジナル着信音を読み込む場合、FOMA端末外への出力が禁止されているデータは読み込まれません。
- 読み込んだデータは、一覧画面左側のツリービューで選択していたフォルダに保存されます。
- データの書き込みは1件ずつとなります。

オリジナル着信音の読み込み

1 【オリジナル着信音】画面を表示する(12ページ参照)

[1] Windowsのエクスプローラと同様に、マイコンピュータ内のフォルダ階層をツリービュー表示します。FOMA端末からデータを読み込むと、ここで選択したフォルダに保存されます。

[2] [1]で選択したフォルダ内のデータを表示します。表示されるデータは、MIDI形式(.mid)、MFi形式(.mld)のファイルです。

2 **画面左側のツリービューから、データを読み込むフォルダを選択する**

3 **FOMA端末からデータを読み込む(14ページ参照)**

●FOMA端末からデータを読み込むと、データリンクソフトではオリジナル着信音のタイトルがファイル名となります。読み込むデータのタイトルに使用不可文字(¥、/、:、*、?、"、<、>、｜)が使用されていた場合は削除されます。使用不可文字を削除した結果、文字列がなくなった場合のデータリンクソフト側のファイル名は「無題」となります。

●データを読み込む際、ファイル名が重複した場合は後から読み込んだファイル名の後ろに(1)、(2)、…と追加されていきます。

●音楽再生に対応したソフトがパソコンにインストールされている場合、データをダブルクリックするとオリジナル着信音が再生されます。

オリジナル着信音の書き込み

1 **【オリジナル着信音】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **画面左側のツリービューからフォルダを選択し、画面右側から書き込むデータを選択する**

3 **FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)**

●FOMA端末へ書き込むデータのファイル名(拡張子を除く)が全角25文字、半角50文字を超える場合は、自動的に超えた部分が削除されます。

オリジナルイメージ

パソコンとFOMA端末または、FOMA端末どうしでオリジナルイメージを転送することができます。

重要
- オリジナルイメージを読み込む場合、FOMA端末外への出力が禁止されているデータは読み込まれません。
- 読み込んだデータは、一覧画面左側のツリービューで選択していたフォルダに保存されます。
- データの書き込みは1件ずつとなります。
- N2051／N2701ではデータサイズが100KBまでのオリジナルイメージを読み込めますが、書き込みができるのは20KBまでです。

オリジナルイメージの読み込み

1 【オリジナルイメージ】画面を表示する(12ページ参照)

[1] Windowsのエクスプローラと同様に、マイコンピュータ内のフォルダ階層をツリービュー表示します。FOMA端末からデータを読み込むと、ここで選択したフォルダに保存されます。

[2] [1]で選択したフォルダ内のデータを表示します。表示されるデータは、GIF形式(.gif)またはJPEG形式(.jpg/.jpeg)のファイルです。

2 画面左側のツリービューから、データを読み込むフォルダを選択する

3 FOMA端末からデータを読み込む(14ページ参照)

- N2051/N2701からデータを読み込むと、データリンクソフトではオリジナルイメージのファイル名で保存します。
- N2001/N2002からデータを読み込むと、データリンクソフトではオリジナルイメージのタイトルがファイル名となります。読み込むデータのタイトルに使用不可文字(¥、/、:、*、?、"、<、>、|)が使用されていた場合は削除されます。使用不可文字を削除した結果、文字列がなくなった場合のデータリンクソフト側のファイル名は「無題」となります。
- データを読み込む際、ファイル名が重複した場合は後から読み込んだファイル名の後ろに(1)、(2)、…と追加されていきます。

- 画像閲覧に対応したソフトがパソコンにインストールされている場合、データをダブルクリックするとオリジナルイメージが表示されます。

オリジナルイメージの書き込み

1 【オリジナルイメージ】画面を表示する(12ページ参照)

2 画面左側のツリービューからフォルダを選択し、画面右側から書き込むデータを選択する

3 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

- FOMA端末へ書き込むデータのファイル名(拡張子を除く)が全角9文字(N2001/N2002の場合)、半角18文字を超える場合は、自動的に超えた部分が削除されます。
- N2051/N2701に書き込めるオリジナルイメージのファイル名は半角英数字のみです。半角英数字以外をファイル名に使用している場合、その文字は削除されて書き込まれます。使用不可文字を削除した結果、文字列がなくなった場合のファイル名は「image」となります。

オリジナルiモーション

パソコンとFOMA端末または、FOMA端末どうしでオリジナルiモーションを転送することができます。

- N2001ではオリジナルiモーションをご利用になれません。
- オリジナルiモーションを読み込む場合、FOMA端末外への出力が禁止されているデータは読み込まれません。
- 読み込んだデータは、一覧画面左側のツリービューで選択していたフォルダに保存されます。
- データの書き込みは1件ずつとなります。
- N2051／N2701ではデータサイズが800KBまでのオリジナルiモーションを読み込めますが、書き込みができるのは300KBまでです。

オリジナルiモーションの読み込み

1 【オリジナルiモーション】画面を表示する（12ページ参照）

[1] Windowsのエクスプローラと同様に、マイコンピュータ内のフォルダ階層をツリービュー表示します。FOMA端末からデータを読み込むと、ここで選択したフォルダに保存されます。

[2] [1]で選択したフォルダ内のデータを表示します。表示されるデータは、N2051／N2701では3gp形式(.3gp)、N2001／N2002ではasf形式(.asf)のファイルです。

2 **画面左側のツリービューから、データを読み込むフォルダを選択する**

3 **FOMA端末からデータを読み込む(14ページ参照)**

●FOMA端末からデータを読み込むと、データリンクソフトではオリジナルiモーションのタイトルがファイル名となります。読み込むデータのタイトルに使用不可文字(¥、/、:、*、?、"、<、>、｜)が使用されていた場合は削除されます。使用不可文字を削除した結果、文字列がなくなった場合のデータリンクソフト側のファイル名は「無題」となります。

●データを読み込む際、ファイル名が重複した場合は後から読み込んだファイル名の後ろに(1)、(2)、…と追加されていきます。

●動画再生に対応したソフトがパソコンにインストールされている場合、データをダブルクリックするとオリジナルiモーションが再生されます。

オリジナルiモーションの書き込み

1 **【オリジナルiモーション】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **画面左側のツリービューからフォルダを選択し、画面右側から書き込むデータを選択する**

3 **FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)**

●FOMA端末へ書き込むデータのファイル名(拡張子を除く)がN2051／N2701では全角9文字、半角18文字を超える場合は、自動的に超えた部分が削除されます。

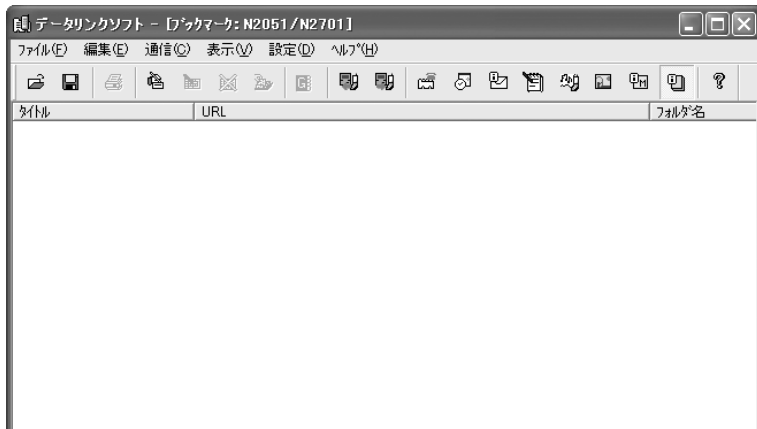
ブックマーク

ブックマークの編集、修正やフォルダの編集をすることができます。

ブックマークの追加・編集・削除・複写

ここでは、ブックマークの編集方法を説明します。

ブックマークの追加

1 **【ブックマーク】画面を表示する（12ページ参照）**

2 **[編集] − [ブックマークの追加] を選択する**

【ブックマークの追加】画面が表示されます。

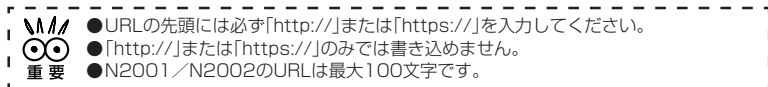
N2051／N2701の場合：

N2001／N2002の場合：

[1] 作成するブックマークのタイトルを入力します。半角で最大24文字まで、全角で最大12文字まで入力できます。

[2] 「タイトル」に絵文字を入力する時に使用します。(18ページ参照)

[3] URLを半角英数字で入力します。最大256文字まで入力できます。

重要
●URLの先頭には必ず「http://」または「https://」を入力してください。
●「http://」または「https://」のみでは書き込めません。
●N2001/N2002のURLは最大100文字です。

[4] ブックマークを管理するためのフォルダを選択します。

4 追加する内容を入力し<OK>ボタンを押す

一覧画面の一番下にデータが追加されます。

5 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

ブックマークの編集

新規作成したブックマークを修正します。

1 【ブックマーク】画面を表示する(12ページ参照)

2 FOMA端末に登録されているデータを修正する場合は、ブックマークを読み込む(14ページ参照)

3 修正するブックマークを選択する

4 [編集]−[ブックマークの編集]を選択する

【ブックマークの編集】画面が表示されます。

5 データを修正して<OK>ボタンを押す

修正したデータが上書きされます。修正できるデータの項目は『ブックマークの追加(60ページ参照)』と同じです。

6 FOMA端末にデータを書き込む(15ページ参照)

【メール】画面を表示しているときに、以下の操作を利用し不要なブックマークを削除したり、複写したブックマークを編集し別のブックマークを作成することができます。

ブックマークの削除

1 **削除したいブックマークを選択する**

2 **[編集]－[ブックマークの削除]を選択する**

【削除】画面が表示されます。

3 **＜はい＞ボタンを押す**

ブックマークの複写

1 **複写元のブックマークを選択する**

2 **[編集]－[ブックマークの複写]を選択する**

複写元のデータが入力された状態で【ブックマークの複写】画面が表示されます。

重要

- FOMA端末では、同じURLのブックマークを登録できないため、必ずURLを変更してください。
- すでにブックマークが、N2051／N2701では100件、N2001／N2002では50件登録されていると、[ブックマークの複写]を選択することができません。不要なブックマークを削除してから、選択しなおしてください。

3 **内容を修正して＜OK＞ボタンをおす**

ブックマークがリストの1番下に追加されます。

フォルダの編集

ブックマークを管理するための、フォルダを追加・編集・削除することができます。

重要

- ●フォルダの編集、転送機能を利用できるのは、N2051／N2701のみです。
- ●フォルダは最大9件まで登録できます。
- ●「選択されたデータを追加して書き込む」を行う場合、フォルダ設定は解除されて書き込まれます。

1 **【ブックマーク】画面を表示する（12ページ参照）**

2 **FOMA端末に登録されているデータを編集する場合は、ブックマークを読み込む（14ページ参照）**

3 **[編集]－[フォルダの編集]を選択する**

【フォルダの編集】画面が表示されます。

［1］ 設定されているフォルダが表示されます。

［2］　＜追加＞ボタンを押すと、【フォルダ名の追加】画面が表示されます。

［3］　修正するフォルダを選択して＜編集＞ボタンを押すと、【フォルダ名の編集】画面が表示されます。フォルダの名前を入力して、＜OK＞ボタンを押します。

［4］　「フォルダ一覧」で選択したフォルダを削除します。

［5］　フォルダ名を入力します。全角9文字、半角18文字まで登録できます。

［6］　フォルダ名に絵文字を入力するときに使用します。（18ページ参照）

4 **内容を編集し＜OK＞ボタンを押す**

5 **FOMA端末にデータを書き込む（15ページ参照）**

印刷

電話帳の一覧画面を印刷することができます。

1 【電話帳】画面を表示する(12ページ参照)

2 FOMA端末に登録されているデータを印刷する場合は、電話帳を読み込む(14ページ参照)

3 [ファイル]−[印刷]を選択する

電話帳の印刷例(N2051／N2701の場合)

名前/読みｶﾅ	郵便番号/住所	電話番号	ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	ｼｰｸﾚｯﾄ	写真	ﾒﾓ
佐藤 ｻﾄｳ	123-4567	03XXXXXXXX	docomo.taro.△△@…	ｸﾞﾙｰﾌﾟ01			ﾒﾓ
高橋 ﾀｶﾊｼ	214 住所	090XXXXXXXX		ｸﾞﾙｰﾌﾟ05		○	
鈴木 ｽｽﾞｷ	039-23	080XXXXXXXX		ｸﾞﾙｰﾌﾟ10	○		
岡本 ｵｶﾓﾄ		03XXXXXXXX 090XXXXXXXX 080XXXXXXXX 070XXXXXXXX		ｸﾞﾙｰﾌﾟ19			

●電話帳一覧は、画面の表示と同じ比率で枠を作成し印刷されます。したがって、印刷する項目は画面に表示している各項目の幅を調整することで変更できます。データが枠に入りきらない場合は、後ろの部分のデータは「…」と印刷されます。

4 ＜OK＞ボタンを押す

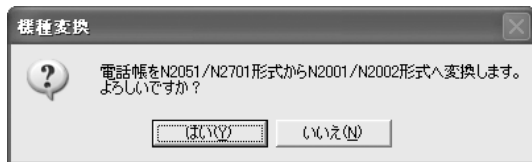
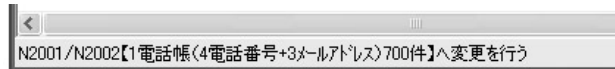
データの変換

編集中のデータを他のFOMA端末の形式に変換して、パソコン上に保存したりFOMA端末に書き込んだりすることができます。1つの元データを様々な機種の形式に変換して、それぞれの異なる機種のFOMA端末に登録することができるので便利です。なお、機種によるデータ形式の違いは、『付録2 FOMA端末の機種による違い(83ページ)』をご覧ください。

編集中の電話帳を他のFOMA端末の形式に変換する

1 【電話帳】画面を表示する(12ページ参照)

2 FOMA端末に登録されているデータを変換する場合は、電話帳を読み込む(14ページ参照)

3 [設定]－[携帯電話種別変更]を選択し、変換したい形式の機種を選択する

ポインタを[携帯電話種別変更]－機種名の上に置くと、ステータスバーに選択した機種の説明が表示されます。

4 <はい>ボタンを押す

●N2051／N2701の電話帳をN2001／N2002の形式に変換すると郵便番号／住所、写真、メモの内容は削除され、再度N2051／N2701を選択しても登録してあった内容は復元されません。ご注意ください。データの形式を変換する前に、パソコン上にデータを保存し、データ形式を変換した後は、別名のファイルに保存するようにしてください。

パソコン上への保存・利用

データリンクソフトで編集したデータをパソコン上に保存して利用することができます。

保存形式

パソコン上でデータを保存する場合の保存形式は、次の6種類です。
電話帳、スケジュール／ToDo、テキストメモ、ブックマークの各データはそれぞれ別のファイルに保存されます。

❶ データリンクソフト(独自)形式(～.fa1)

この形式で保存されるデータは、電話帳(【電話帳】画面に表示される内容)です。

❷ データリンクソフト(独自)形式 (N2051／N2701の場合：～.fy2、N2001／N2002の場合：～.fy1)

この形式で保存されるデータは、スケジュール／ToDo(【スケジュール／ToDo】画面に表示される内容)です。

❸ カンマ(,)区切りテキスト形式(～.csv)

この形式で保存されるデータは、電話帳(【電話帳】画面で表示される内容)です。

❹ vCardファイル形式(～.vcf)

この形式は、インポート／エクスポート操作で読み込みまたは保存される形式です。
この形式で保存されるデータは、電話帳(【電話帳】画面で表示される内容)です。

❺ vCalenderファイル形式(～.vcs)

この形式は、インポート/エクスポート操作で読み込みまたは保存される形式です。この形式で保存されるデータは、スケジュール/ToDo(【スケジュール/ToDo】画面で表示される内容)です。

❻ テキスト形式(～.txt)

テキスト形式では次のデータを保存することができます。

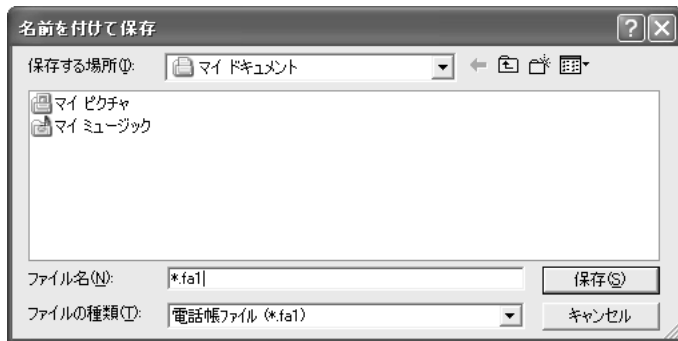
- テキストメモ(【テキストメモ】画面に表示される内容)
- ブックマーク(【ブックマーク】画面に表示される内容)

補足

- ●iモードメール、SMSメールは、本ソフト終了時に自動的にパソコン上に保存され、次回起動時に自動的にデータが表示されます。なお、受信・送信メール1件ごとの内容をテキスト形式で保存する場合は、『iモードメール/SMSメールの保存(78ページ)』をご覧ください。
- ●N2051/N2701の電話帳を保存する場合、写真データはデータリンクソフト(独自)形式・vCardファイル形式(.vcf)でのみ保存されます。その他の形式では保存されません。
- ●オリジナル着信音、オリジナルイメージ、オリジナルiモーションは、FOMA端末からデータを読み込むと一覧画面左側のツリービューで選択していたフォルダにデータが保存されます。

データの保存

1 保存したいデータが読み込まれていることを確認し、[ファイル]－[名前を付けて保存]を選択する

【名前を付けて保存】画面が表示されます。

2 データを保存する場所、ファイル形式、ファイル名を指定して<保存>ボタンを押す

例えば、電話帳で指定できる保存形式は、.fa1(独自形式)または.csv(カンマ(,)区切りテキスト形式)です。

●電話帳をCSVファイル形式で保存すると、アイコン、グループ番号、シークレットは数字に変換されます。

独自形式、テキスト形式、旧形式で保存したデータを開く

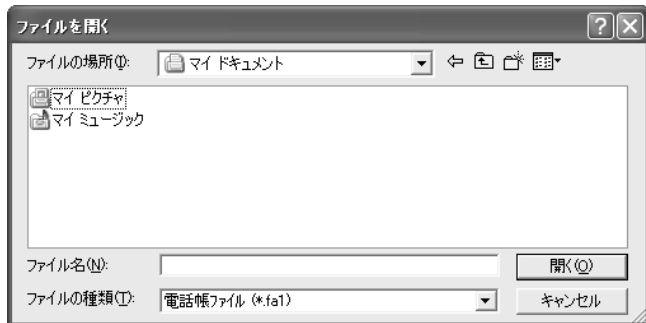
●選択したファイルが画面上の読み込み対象のデータと異なる場合には、読み込みは実行されません。再度、正しい拡張子のファイルを指定してください。

●旧形式のファイルについて
旧形式のデータとは、ムーバ用データリンクソフトで作成し保存したデータファイルです。ファイルの拡張子が「.txt」のテキストファイルで、各項目間がカンマで区切られ、1レコードの終わりが改行で区切られています。

1 **読み込みたいデータの編集画面を表示する(12ページ参照)**

2 **[ファイル]－[開く]を選択する**

【ファイルを開く】画面が表示されます。

ファイルを開く
ファイルの場所(I): マイ ドキュメント
マイ ピクチャ
マイ ミュージック
ファイル名(N):
開く(O)
ファイルの種類(T): 電話帳ファイル (*.fa1)
キャンセル

3 それぞれの編集画面に対応したファイル形式(拡張子)のデータを選択する

- 電話帳 → ～.fa1
- スケジュール／ToDo → ～.fy2(N2051／N2701)、～.fy1(N2001／N2002)
- テキストメモ → .txt
- ブックマーク → .txt

●電話帳、スケジュール／ToDo、テキストメモ、ブックマークで登録可能件数を超えるデータが保存されたファイルを開いた場合は、先頭から順に登録可能件数分までを読み込みます。

●FOMA端末から読み込んだテキストメモをテキストファイル形式で保存すると、日時表記は世界協定時(UTC)形式で記述されます。メモ内容の下に表示される数字とアルファベットのうち、「T」は年月日と時分秒の区切りを示し、「Z」はUTC形式で記述されていることを示します。

他のソフトで作成したテキスト形式(.txt／.csv)データを開く

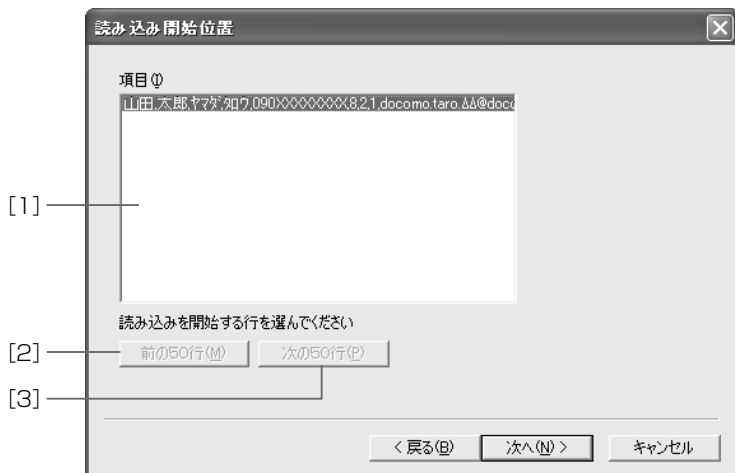
エディタソフトや表計算ソフトを使用して保存されたテキスト形式(タブ区切り／カンマ区切り)のデータを、次の方法でデータリンクソフトに読み込むことができます。このコマンドで開けるデータの形式は、『タブ区切りテキスト形式(.txt)』または『カンマ(,)区切りテキスト形式(.csv)』です。

1 **【電話帳】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **[ファイル]−[テキスト(CSV形式)から開く]を選択する**

【読み込みファイル】画面が表示されます。

3 ＜参照＞ボタンを押し読み込みたいデータのファイルを選択し、＜次へ＞ボタンを押す

4 電話帳として読み込みを開始する行を選択し＜次へ＞ボタンを押す

[1] 読み込んだファイルの内容を表示します。

[2] ボタンを押すと現在、選択している行から50行前のデータが表示されます。

[3] ボタンを押すと現在、選択している行から50行後のデータが表示されます。

5 名前(姓)として指定する項目を選択して＜次へ＞ボタンを押す

6 同様に、その他のデータとして読み込む項目を指定する

読み込みの対象となる項目は「名前(姓)」、「名前(名)」、「読みカナ(姓)」、「読みカナ(名)」、「電話番号」、「グループ番号」、「アイコン」、「シークレット」、「メールアドレス」、「郵便番号」、「住所」、「メモ」です。その他の項目や読み込む必要のない項目は「スキップする」を指定して＜次へ＞ボタンを押します。

7 すべての指定が終わったら＜完了＞ボタンを押す

データが【電話帳】一覧画面に表示されます。

重要

- テキスト形式から開く際、データの内容や形式がFOMA端末で扱えない値だった場合、FOMA端末の初期値に変換して表示されます。各データ編集画面で修正してください。
- テキスト形式ファイルを読み込む場合に、各項目のデータの長さがFOMA端末で扱えるデータ長を超えていると、最大長を超えた文字列は自動的にカットされて読み込まれます。
- テキスト形式で保存した電話帳のデータを表計算ソフトで編集し保存する場合は、電話番号の先頭の「0」が欠落しないように文字属性のデータで出力してください。表計算ソフトで文字属性出力する操作は、表計算ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

インポート／エクスポート

エディタソフトを使用して保存されたvCard、vCalendar形式のデータを、次の方法で電話帳とスケジュール／ToDoに読み込むことができます。

1 **【電話帳】または【スケジュール/ToDo】画面を表示する****（12ページ参照）**

2 **[ファイル]－[インポート]を選択する**

【ファイルを開く】画面が表示されます。

3 **それぞれの編集画面に対応したファイル形式（拡張子）のデータを選択する**

- **電話帳 → ～.vcf**
- **スケジュール／ToDo → ～.vcs**

【電話帳の追加】、【スケジュールの追加】、【ToDoの追加】画面が表示されます。

4 **<OK>ボタンを押す**

重要

- 電話帳を1件選択している場合は、その電話帳の1つ上にインポートしたデータが追加されます。電話帳を選択していない場合または複数の電話帳を選択している場合は、一覧画面の1番下に追加されます。
- 次の手順でvCard形式（.vcf）、vCalendar形式（.vcs）のデータを書き出すことができます。手順**2**でデータを選択し[ファイル]－[エクスポート]を選択すると【名前を付けて保存】画面が表示されますので、保存する場所を選択し、ファイル名を入力します。
- インポート／エクスポートを行う際、データの選択は1件ずつとなります。

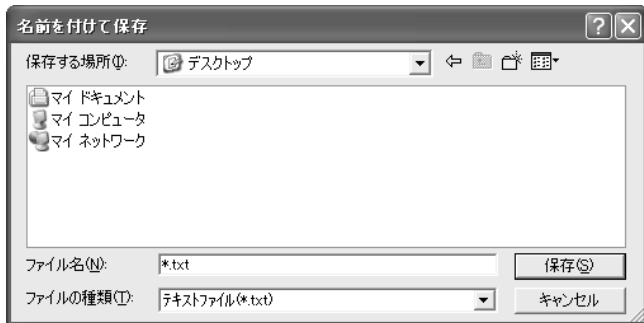
iモードメール／SMSメールの保存

送信メール・受信メールの内容を1件ごとにパソコンに保存することができます。保存されるメールの内容は、宛先／差出人、題名、日時、本文、添付ファイル名、添付ファイル内容で保存形式はテキスト形式（.txt）です。

1 **【メール】画面を表示する（12ページ参照）**

2 **パソコンに保存したいメールを選択する**

3 **[ファイル]－[メール内容の出力]を選択する**

【名前を付けて保存】画面が表示されます。

4 **保存する場所やファイル名を指定して<保存>ボタンを押す**

選択したメールがパソコン上に保存されます。保存したデータを開くには、メモ帳やワードパッドなどのエディタソフトをご利用ください。

添付ファイルがある場合は、本文の下にBase64の形式で表示します。

添付ファイルの保存

受信メールに添付されたファイルをパソコンに保存することができます。

1 **【メール】画面を表示する(12ページ参照)**

2 **「受信メール」から、ファイルが添付されたメールを選択する**

3 **[編集]－[メールの編集／閲覧]を選択する**

【メールの閲覧】画面が表示されます。

4 **「添付ファイル」の<保存>ボタンを押す（46ページ参照）**

【名前を付けて保存】画面が表示されます。

5 **保存する場所やファイル名を指定して<保存>ボタンを押す**

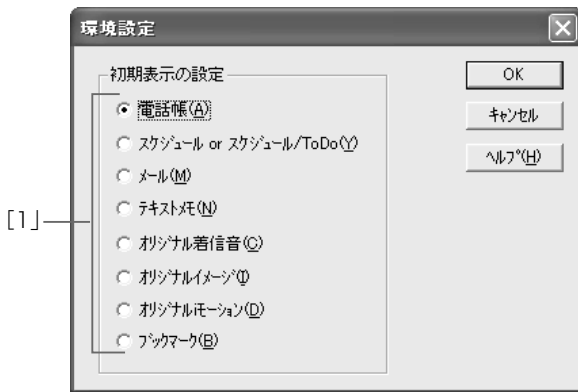
添付ファイルが複数件ある場合は、【名前を付けて保存】画面が連続して表示されますので、１件ずつ保存してください。

初期画面表示の設定

本ソフトの起動時に表示する画面を設定することができます。インストール後の初期設定は、【電話帳】画面です。

1 **[設定]－[環境設定]を選択する**

【環境設定】画面が表示されます。

2 **初期画面表示にしたい項目を選択し、<OK>ボタンを押す**

[1] データリンクソフトを起動した時に表示する画面を選択します。

●起動時の携帯電話機種は、前回編集していたデータの携帯電話機種です。起動時の携帯電話機種で、【環境設定】画面で選択した画面を利用できない場合、起動時に表示する一覧画面は【電話帳】画面になります。

付録

付録1 データ転送時のFOMA端末の設定について

データの読み込みや書き込みをする際は、次の表を参考にして設定中の機能を解除してください。

機種 / 機能	N2051／N2701		N2001／N2002	
	読み込み	書き込み	読み込み	書き込み
オールロック	×	×	×	×
PIMロック	×	×	×	×
セルフモード	×	×	−	−
ダイヤル発信制限	×	×	×	×
メモリダイヤルロック	−	−	×	×
指定発信制限	○	×	○	○

○：解除不要　×：解除必要　−：未サポート

付録2 FOMA端末の機種による違い

機能＼機種		N2051／N2701	N2001	N2002
1.【電話帳】				
	電話番号桁数	26桁	20桁	20桁
	メールアドレスアイコン	5種類（※1）	4種類	4種類
	グループ名文字数	21（※2）	20（※2）	20（※2）
	郵便番号	○	×	×
	住所	○	×	×
	メモ	○	×	×
	画像	○	×	×
2.【スケジュール／ToDo】				
	アイコン	20種類（※3）	19種類	19種類
	繰り返し設定	○（※4）	○（※4）	○（※4）
	事前通知機能	○	×	×
	ToDo機能	○	×	×
3.【メール】				
	受信の件数	最大800件	最大500件	最大500件
	送信の件数	最大400件	最大100件	最大100件
	新規の件数	10件	5件	5件
	フォルダ機能	○	×	×
	SMS宛先文字数	26	20	20
	SMS発信者文字数	26	20	20
	添付データサイズ	102400byte	10000byte（※5）	10000byte（※5）
	添付可能ファイル数	11	10	10

機能＼機種		N2051／N2701	N2001	N2002
4.【テキストメモ】				
	件数	10件	5件	5件
5.【メロディ】				
	最大件数	120件	30件	60件
	最大SMFデータサイズ	20480byte	10240byte	20480byte
	MFi バージョン3	○	×	×
6.【イメージ】				
	最大件数	200件（※6）	12件	40件
	最大データサイズ	20480byte	10240byte	20480byte
	最大画像サイズ（GIF）	640ドット（※7）	1024ドット（※8）	1024ドット（※8）
	最大画像サイズ（JPEG）	640ドット（※7）	360ドット（※8）	360ドット（※8）
7.【iモーション】				
	最大件数	70件（※9）	×	50件
	最大データサイズ	819200byte（※10）	×	102400byte
8.【ブックマーク】				
	件数	100件	50件	50件
	URL文字数	256	100	100
	フォルダ機能	○	×	×

○：サポート　×：未サポート

※1　：iモードアドレスアイコンの追加
※2　：数字は半角の場合、全角の場合は10文字
※3　：誕生日アイコンの追加
※4　：繰り返しかたを「曜日指定」、「毎日」から選択可能。ただし、毎週繰り返しのスケジュールをN2001へ書き込んだ場合、N2001では曜日指定が無効となり「年月日設定」での毎週繰り返しとなります。
※5　：メール本文と併せて10000byte
※6　：書き込みは100件
※7　：横幅の最大サイズ（縦幅はデータによって書き込めるサイズが変動します）
※8　：横幅の最大サイズ（縦幅は制限なし）
※9　：カメラ20件、ダウンロード50件
※10：ダウンロードは300kbyte

付録3 エラーが発生したときに

エラーが発生した場合は、次の表を参考にして、エラーの詳細と対処方法を確認してください。

No.	エラーの状態	エラーの対処方法
1	通信中にエラーが発生しました。処理を中止します。	FOMA 端末との接続が正常か確認し通信をやり直す。 ① ケーブル接続とコネクタが正しく差し込まれているかを確認する。 ② FOMA 端末の電池残量表示を確認する。 ③ まわりにノイズの発生する機器がないかを確認する。
2	FOMAへアクセスできません。処理を中止します。	FOMA端末での端末暗証番号入力をやり直す。 ① FOMA端末に登録されている正しい端末暗証番号を入力する。FOMA端末の工場出荷時の値は『0000』となっています。 FOMA端末を通信できる状態にする。 ① 他に使用している機能を終了し、待受画面にする。
3	認証に失敗しました。処理を中止します。	FOMA端末での認証パスワードの入力をやり直す。 ① データリンクソフトで入力した認証パスワードと同じものをFOMA端末で入力する。
4	通信の初期化に失敗しました。処理を中止します。	FOMA端末との接続が正常か確認し通信をやり直す。 ① 通信ポートが正常に動作しているかを確認する。接続についてはFOMA端末の『取扱説明書データ通信編』を参照する。 ② FOMA端末の電池残量表示を確認する。 ③ Windowsを再起動する。
5	接続されている電話はサポート外か、通信設定のポート番号が違います。設定を確認してください。	FOMA端末の機種の確認、通信設定の確認を行う。 ① サポートしているFOMA端末(表紙参照)を使用する。 ② データリンクソフトの通信設定で指定したポート番号とOBEX Port番号が同じかを確認する。(9ページ参照) ③ ケーブル接続とコネクタが正しく差し込まれているかを確認する。

No.	エラーの状態	エラーの対処方法
6	メモリ転送に失敗しました。処理を中止します。	FOMA端末を通信できる状態にする。 ① FOMA端末のロック機能を全て解除する。 ② iアプリを停止する。 ③ 待受画面にする。 FOMA端末内のデータを確認する。 ① 同じURLのブックマークがないか確認する。
7	メモリ不足が発生しました。処理を中止します。	パソコンのリソースが不足しているため、次の操作を行う。 ① いったん全てのアプリケーションを終了し、データリンクソフトを再起動する。 ② Windowsを再起動後、本ソフトを起動して再操作する。
8	指定されたファイルはフォーマットが不正です。処理を中止します。	表示されている編集画面で扱えないファイルを開こうとしているため、次を確認する。 ① 編集画面【電話帳】、【テキストメモ】、【ブックマーク】、【スケジュール／ToDo】とファイル形式があっているかを確認する。編集画面が違う場合、「表示」メニュー、あるいはツールアイコンで編集画面を切り替える。ファイルが違う場合はファイルを指定し直す。
9	サポート外のファイルのため処理できません。処理を中止します。	電話帳に登録するファイルを確認する。登録可能なファイルはJPEGファイルのみ。
10	ファイルIOエラーが発生しました。	パソコンの空きディスク容量を確認する。
11	バージョンが異なります。処理を中止します。 エラーコード：FYx・xxxx	選択しているFOMA端末の機種で扱えないスケジュール／ToDoを開こうとしているため、次を確認する。 ① ファイルの拡張子がN2051／N2701の場合は「.fy2」、N2001／N2002の場合は「.fy1」のデータを選択する。N2001／N2002はToDoを利用できません。
12	通信に必要なDLLがみつかりません。処理を中止します。	データリンクソフトを再インストールする。
13	xxx.dllが見つかりません。処理を中止します。	データリンクソフトを再インストールする。

付録4 ムーバからFOMA端末へのデータ転送

データ転送

ムーバからFOMA端末へデータを転送する場合、次の操作を行ってください。

1 ムーバ用データリンクソフトを利用し、ムーバからパソコンへデータを読み込む

2 ムーバ用データリンクソフトを利用し、ムーバから読み込んだデータをフォルダを指定して保存する

3 本ソフトを利用し、データを保存しているフォルダを指定してデータを読み込む

4 本ソフトを利用し、パソコンからFOMA端末へデータを書き込む

●データの転送には、ムーバ用、FOMA用それぞれのデータリンクソフトが必要です。
●ムーバからデータ転送ができる項目は、電話帳とブックマークです。

ムーバ用データリンクソフトとの違い

電話帳のテキストデータ読み込みについて

ムーバ用のデータリンクソフトでテキスト形式保存したデータから、下記の項目を読み込むことができます。
なお、FOMA Nシリーズ データリンクソフトではメモリ番号項目はありません。したがって、読み込んだテキストデータの順に表示されます。

1:	氏名	※姓、または名前として読み込みます(ユーザー選択)。
2:	フリガナ	※姓、または名前として読み込みます(ユーザー選択)。
3:	電話番号	※N2001／N2002は20桁まで読み込みます。
4:	グループ番号	※初期値の番号のみを読み込み、グループ名は消去されます。
5:	アイコン	
6:	シークレット	
7:	メールアドレス	
8:	郵便番号	※N2051／N2701で読み込むことができます。
9:	住所	※N2051／N2701で読み込むことができます。
10:	メモ	※N2051／N2701で読み込むことができます。

●ムーバ用データリンクソフトでテキスト形式に保存したデータは、上記の項目順に保存されています。

ブックマークデータの読み込みについて

フォルダ機能のついたブックマークのデータを読み込むことができるのは、携帯電話種別変更でN2051／N2701を選択しているときのみです。
フォルダ機能のないブックマークのデータは、すべての機種設定で読み込むことができます。

	携帯電話種別			
	N2051／N2701	N2001／N2002	ムーバ（フォルダあり）	ムーバ（フォルダなし）
フォルダありデータ	○	×	○	×
フォルダなしデータ	○	○	○	○

FOMA端末に登録できるブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字までです。
N2001／N2002に登録できるURLは、半角100文字までです。
登録できる文字数を超えた場合は、自動的に超えた部分のデータが削除されて読み込まれます。

操作上またはデータを扱う上でのムーバ用データリンクソフトとの違い

- データの読み込み・書き込みをする際、ロック／セキュリティの各種設定・指定発信制限の設定を解除してください。また、iモード通信を行っている場合や、マルチタスクで他の機能を起動している場合は、すべて終了してください。詳しくは、『付録1 データ転送時のFOMA端末の設定について(82ページ)』をご覧ください。
- 【データ書込】画面で「一括でデータを書き込む」を選択した場合、認証パスワードの入力が必要です。また、N2001／N2002で「選択されたデータを追加して書き込む」を選択した場合、FOMA端末の暗証番号の入力が必要です。
- FOMA端末からデータを一覧画面に読み込む場合は、FOMA端末でのデータ登録順にかかわらず50音順で表示されます。
- データを書き込む場合は、一覧画面に表示されている順で書き込まれます。メモリ番号機能がある電話帳へデータを書き込む場合、メモリ番号「0」から順に割り当てられます。
- 文字入力欄に「｜XXXX｜」文字列(XXXXは絵文字コード)を入力すると絵文字のコードとして変換されたり、正しく表示されない場合があります。また、FOMA端末に書き込んだ際に表示が異なる場合があります。

付録5 機種変換規則

電話帳の変換規則

変換先 変換元	N2701 N2051	N2002 N2001
N2701 N2051		○(*1)
N2002 N2001	○	

○：変換されます　×：変換されません

*1 ：郵便番号、住所、メモ、写真は削除されます。また、iモードアドレスアイコンはメールアドレスアイコンに変換されます。

スケジュール／ToDoの変換規則

変換元＼変換先	N2701 N2051	N2002 N2001
N2701 N2051		×
N2002 N2001	○	

○：変換されます　×：変換されません

●機種ごとに設定項目や件数または文字数などに違いがあるため、一部変換されない場合があります。

iモードメール／SMSメールの変換規則

変換元＼変換先	N2701 N2051	N2002 N2001
N2701 N2051		×
N2002 N2001	×	

○：変換されます　×：変換されません

● [携帯電話種別変更]で機種変換をしてもパソコン上のデータは削除されません。機種を戻すことで再度、表示されます。

テキストメモの変換規則

変換先 変換元	N2701 N2051	N2002 N2001
N2701 N2051		×
N2002 N2001	○	

○：変換されます　×：変換されません

●機種ごとに登録件数に違いがあるため、一部変換されない場合があります。

ブックマークの変換規則

変換先 / 変換元	N2701 N2051	N2002 N2001
N2701 N2051		×
N2002 N2001	○	

○：変換されます　×：変換されません

●機種ごとに登録件数に違いがあるため、一部変換されない場合があります。

索引

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMoグループ		
株式会社 NTTドコモ北海道	株式会社 NTTドコモ東北	株式会社 NTTドコモ
株式会社 NTTドコモ東海	株式会社 NTTドコモ北陸	株式会社 NTTドコモ関西
株式会社 NTTドコモ中国	株式会社 NTTドコモ四国	株式会社 NTTドコモ九州
製造元　日本電気株式会社		

'03.7（1版）